

各位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会  
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第10号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第10号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。この情報はホームページ（以下URL）にも随時公開しています  
[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00323270/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00323270/index.html)

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R3 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R3 (hr)	平年比 (%)
7月	1	25.4	27.4	2.0	29.2	31.3	2.1	22.4	24.7	2.3	90.3	40.5	45	16.3	14.2	87
	2	26.1	27.3	1.2	30.1	30.0	-0.1	23.0	25.6	2.6	83.2	49.0	59	20.3	2.9	14
	3	26.7	27.5	0.8	30.9	32.2	1.3	23.5	24.4	0.9	61.9	12.0	19	24.2	31.7	131
	4	27.3			31.8			23.9			43.1			28.0		
	5	27.7			32.5			24.2			36.2			31.4		
	6	28.1			33.0			24.5			39.2			41.0		

○7月3半月の平均気温は、平年に比べて1°Cほど高く推移した。また、まとまった降雨もなく多照となった。

○梅雨明けは、平年に比べ6日早い7月13日ごろと発表された。なお、梅雨期間（5月12日～7月12日）における降水量は、519.8mm（平年比89）となった。

≪福岡管区気象台の1か月天気予報（7月15日発表）（予報期間 7月17日から8月16日まで）

向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすく、平年並か高いでしょう。

向こう1か月の降水量と日照時間は、ほぼ平年並ですが、気圧の谷や湿った空気の影響を受ける時期もある見込みです。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：7月15日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/12移植 武雄市橋町	本年値	68.1	316	9.5	40.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草丈は平年より高く、茎数は平年より少ない。</li> <li>※7～8葉身長が著しく伸長している</li> <li>※スクミリンコガイによる食害の影響から茎数は少ない</li> <li>・主幹出葉数は平年並み。</li> <li>※節間長3mm確認 (生育ステージでは平年より2日程度早い)</li> <li>・葉色は平年並み。</li> <li>※中干し7/15～</li> </ul>
	平年値	56.5	329	9.6	40.8	
	平年比	120	96	-0.1	+0.1	
さがびより 6/19移植 武雄市橋町	本年値	47.5	289	8.7	43.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草丈は平年より高く、茎数は平年より多い。</li> <li>※6～7葉身長が著しく伸長している</li> <li>・主稈出葉数は平年より0.3葉多い。</li> <li>・葉色は平年より濃い。</li> </ul>
	平年値	38.7	260	8.4	41.6	
	平年比	122	111	+0.3	+1.7	

※夢しずくおよびさがびよりの平年値はH21～R2の平均値。 耕種概要は稲作情報第8号参照

### 3. 管内の生育状況（7月16日時点）

- 1) 七夕コシヒカリ：現在、糊熟期である。  
出穂盛期は6月28日～30日となり、積算温度による刈取り予想は7月30日～8月3日頃となる。
- 2) 夢しずく（普通期）：現在、分けつ盛期～穂首分化期である。  
7月に入り天気は一転して曇天傾向で推移しているため、草丈が伸長し深水管理の圃場では軟弱徒長ぎみの生育である。
- 3) さがびより：現在、分けつ盛期である。
- 4) その他特記事項
  - ・6月下旬の高温少雨の影響を受けて、不十分な水管理の圃場では、表層剥離による初期分けつ茎の発生抑制やスクミリンゴガイによる食害や除草剤の葉害の発生がみられた。  
「夢しずく」は、上記の理由で茎数が少なく軟弱徒長の生育で推移している圃場を散見される。

### 4. 今後の管理

#### 1) コシヒカリ

- ・「コシヒカリ」は、糊熟期を迎えている。なお、積算温度による刈取り積算目安表は別紙参照。
- ・水管理は、根への酸素供給を図るためにも常時湛水するのではなく間断灌水（潤土管理）を行う。  
ただし、玄米の品質低下を避けるため、土壌表面が白乾しないように、好天が続く場合は必ず走り水を行う。

#### 2) 普通期水稻

- ・「夢しずく」の中干し作業に、遅くとも7月25日に完了する。  
「ヒノヒカリ」、「さがびより」の中干し作業を開始する時期は移植後30日～35日である。  
また、中干しの草丈の目安は、「夢しずく」が45～55cm、「ヒノヒカリ」及び「さがびより」は40～50cmの間が目安である。中干し期間は5～7日天候や土壌の種類、漏水の程度などによって変わるが、圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらいである。  
「歩いて足跡が付くが抵抗なく歩ける硬さ」が理想。  
いもち病が多発している圃場では、強い中干しは避けるようにする。
- ・中干し作業の効果と時期や程度については「稲作情報第9号」参照。

### (3) 病虫害防除

#### ①いもち病

##### 【普通期水稻】

- ・圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」や「ごま葉枯病」の温床になるため、すみやかに除去する。
- ・葉いもちの発生に注意して観察し、進展型病斑が認められれば早急に臨機防除を実施する。  
その場合、オリブライト粒剤等を使用する（ただし農薬摘要に留意する）
- ・窒素過多は発生を助長するので、適切な肥培管理を行う。
- ・BLASTAM情報は別紙参照。BLASTAM（ブラスタム）は、いもち病菌の感染に適した条件が表れたかを判定するモデルである。ブラスタムで好適条件が現れた場合、約1週間後からいもち病の初発あるいは病斑数が急激に増加することが予測されるので注意する。

## BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の出現状況

佐賀県農業技術防除センターHPより

7月

	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
白石	-	-	3	-	-	-	-	-	-
伊万里	-	-	-	-	-	-	2	3	-

- 1: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は20℃未満)
  - 2: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は25℃以上)
  - 3: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温は15～25℃の範囲外)
  - 4: 準好適条件(湿潤時間は湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い)
- : 好適条件(湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した)  
 -: 好適条件の出現なし  
 ?: 判定不能

### ②ウンカ類

- ・セジロウンカ、トビロウンカ、コブノメイガの誘殺状況については別紙参照。  
 また、最新データは、佐賀県農業技術防除センター及び長崎県病害虫防除所HPを参照する。
- ・今後の飛来状況や圃場の発生状況(移植時期や品種、箱施用剤の種類、施用の有無、圃場の場所等)によってウンカ類の発生量や増殖率が異なるため、圃場での発生状況に注意する。ゼクサロン系箱施薬剤を使用している水稻であれば現時点での防除は必要ない。

### 《表1 管内におけるウンカ類の払い落とし調査結果》

管内におけるウンカ類の払い落とし調査(R3)

調査日	セジロウンカ		トビロウンカ		ヒメトビウンカ		備考
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
7月15日							
4月5日移植	21	2	4	0	12	1	コシヒカリ(白石町多田)※箱施薬剤無施用
4月上旬移植	21	0	1	1	2	1	コシヒカリ(白石町 須古①) ※箱施薬剤無施用
	6	0	3	0	9	1	コシヒカリ(白石町新明) ※箱施薬剤無施用
	12	0	1	0	2	0	コシヒカリ(白石町 福富①) ※箱施薬剤無施用
	15	1	3	1	1	3	コシヒカリ(白石町 福富②) ※箱施薬剤無施用
6月12日移植	0	0	0	0	0	0	夢しずく情報田(武雄市橘町) ※ゼクサロン剤
6月19日移植	0	0	0	0	0	0	夢しずく(白石町新明) ※ゼクサロン剤(播種同時)
6月19日移植	0	1	0	0	0	0	さがびより情報田 ※ゼクサロン剤
6月19日移植	0	0	0	0	0	0	さがびより(武雄市橘町) ※ゼクサロン剤

※25 株払落とし総数を計上している。

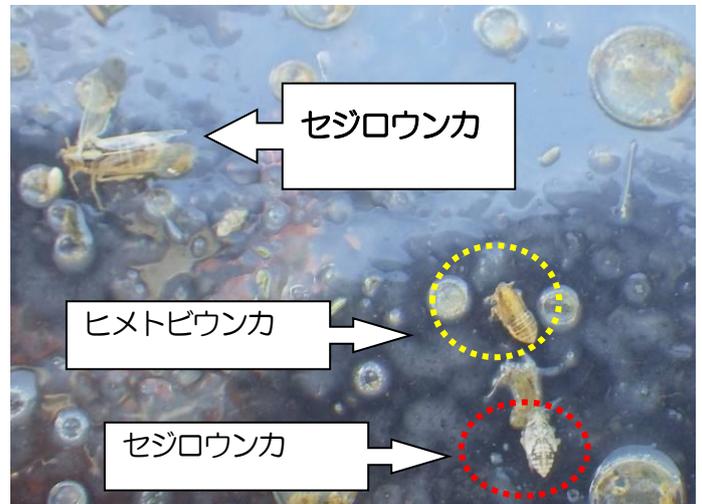
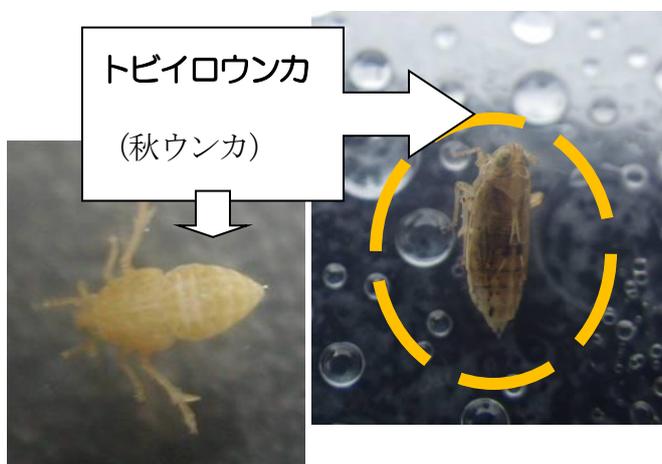






図1 トビイロウンカ各世代の発生予測(第2版、2021年7月14日作成)

1. 5月11日頃、7月3～4日頃(図では7月4日)、7月8～12日頃(図では7月9日)の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(7月14日以降は平年値)を基に作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

# 令和3年産

## 七夕「コシヒカリ」収穫期適期積算表（アメダス観測地、白石）

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会作物部会  
杵島農業改良普及センター  
令和3年7月18日現在

月	日	平均気温		出穂期（月/日）						
		平年	R3	6/24	6/26	6/28	6/30	7/2	7/4	
6	24	24.0	24.1	出穂期						
	25	24.2	24.7	25						
	26	24.3	24.9	49.6	出穂期					
	27	24.4	25.7	75	26					
	28	24.6	25.4	101	51	出穂期				
	29	24.8	25.8	127	77	26				
	30	24.9	26.5	153	103	52	出穂期			
	7	1	25.1	28.0	181	131	80	28		
		2	25.2	26.9	208	158	107	55	出穂期	
		3	25.4	25.5	233	184	133	80	26	
4		25.5	28.5	262	212	161	109	54	出穂期	
5		25.7	28.3	290	241	190	137	82	28	
6		25.8	28.3	319	269	218	166	111	57	
7		25.9	28.5	347	297	246	194	139	85	
8		26.1	27.2	374	325	274	221	166	112	
9		26.2	27.0	401	352	301	248	193	139	
10		26.3	25.3	427	377	326	274	219	165	
11		26.5	26.2	453	403	352	300	245	191	
12		26.6	28.0	481	431	380	328	273	219	
13		26.7	28.4	509	460	408	356	301	247	
14		26.8	28.3	537	488	437	384	330	276	
15		26.9	26.8	564	515	464	411	356	302	
16		27.1	26.9	591	542	490	438	383	329	
17		27.2	25.6	617	567	516	464	409	355	
18		27.3	27.7	644	595	544	491	437	383	
19		27.4		672	622	571	519	464	410	
20		27.5		699	650	599	546	491	437	
21		27.6		727	677	626	574	519	465	
22	27.7		755	705	654	602	547	493		
23	27.7		782	733	682	629	574	520		
24	27.8		810	761	709	657	602	548		
25	27.9		838	788	737	685	630	576		
26	27.9		866	816	765	713	658	604		
27	28.0		894	844	793	741	686	632		
28	28.1		922	872	821	769	714	660		
29	28.1		950	901	849	797	742	688		
30	28.1		978	929	878	825	770	716		
31	28.2		1,006	957	906	853	799	745		
8	1	28.2		1,035	985	934	882	827	773	
	2	28.2		1,063	1,013	962	910	855	801	
	3	28.3		1,091	1,042	990	938	883	829	
	4	28.3		1,119	1,070	1,019	966	912	858	
	5	28.3		1,148	1,098	1,047	995	940	886	
	6	28.3		1,176	1,126	1,075	1,023	968	914	
	7	28.3			1,155	1,104	1,051	996	942	
	8	28.2				1,132	1,080	1,025	971	
	9	28.2					1,108	1,053	999	
	10	28.2						1,081	1,027	
	11	28.1							1,055	
	12	28.1								

### ◎ コシヒカリ収穫適期の目安

● 積算気温による目安

最低 850℃

最高 930℃



### < 収穫のポイント >

積算表はあくまで目安です。

気温が高く推移すれば予想より早まり、  
気温が低く推移すれば予想より遅くなります。

圃場での熟れぐあいを確認したうえで、  
収穫日を決定します。

早期落水は充実不足による「ヤセ米」や、  
「屑米」、「死米」が発生しやすく、品質低下  
の原因となりますので、必ず間断灌水を実  
施して、根の活力維持に努めてください。

コンバイン収穫では、麦などの異種穀粒  
や異物が混入しないように清掃点検を行  
いましょう。

日中の高温条件での収穫となり、籾水分  
も高いので、収穫後はできるだけ速やかに  
通風・乾燥を行いましょう。一時堆積中の  
籾の穀温が高くなり、熱く感じられるときは  
ヤケ米発生となりやすく危険です。



### < 収穫適期の目安 >

◎ 穂軸の先端(穂先)から1~2cmが枯れ、穂元の青籾が5~7粒  
残っている状態で、籾をツメで押してもつぶれなくなった時。

◎ 籾水分28%以下。

・収穫は、穀粒水分30%以下に低下してから始まります。籾水分27%~28%の頃が刈り取りの中心となり、**気温の高い早期作では水分の低下が早く、籾水分25%未満(積算気温で1,000度以上)になると、刈遅れによる品質低下が目立ってきます。**

・早刈りは、玄米の充実不足による「青未熟粒」や「死米」が発生しやすくなります。

「青未熟粒」が多いと食味が劣り、また収量も低下しますので、早刈りは避けましょう。

・遅刈りは、「胴割米」や「茶米」、「穂発芽粒」が発生しやすくなり、品質低下の原因となりますので刈遅れとならないように注意してください。  
活き青米は5~10%程度入っている方が玄米の光沢が良く、外観品質も良くなります。